鳥取県高度熟練技能者（とっとりマイスター）

片木アルミニューム製作所

遠藤 貴浩氏が認定

遠藤氏㊨と平井伸治鳥取県知事

アルミ圧延メーカーの片木アルミニューム製作所（本社・大阪府泉南市、社長・片木威氏）の遠藤貴浩氏が2023年度「鳥取県高度熟練技能者（とっとりマイスター）」に認定され、9日に授与された。大山工場（鳥取県西伯郡大山町）に勤務する遠藤氏は勤続24年のベテラン技術者。

鳥取県では高度熟練技能者の社会的評価を高め、その技能を尊重し継承する社会的機運を醸成していくことを目的に、1998年から製造業の基盤となる職種において優れた技能・技術を有し、後継者育成に意欲ある者を「鳥取県高度熟練技能者（とっとりマイスター）」として認定している。

今回認定された職種は「機械・プラント製図」で17年に「中小企業優秀新技術・新製品賞」を受賞した「アルミニウム製品端面自動補正装置」や「アルミ板表面欠陥検査ロボット」などの装置の計測機器の設計・開発を遠藤氏が担当し、その優れた技能が認められた。同時に大山工場は「鳥取県高度熟練技能者認定事業所」に認定された。

大山工場では09年に鋳造で須山喜文氏、12年に機械加工で高見邦夫氏、20年に機械加工で中井祐明氏が受賞しており、今回で4人目。

片木社長は「日頃注目されることが少ない技術者にとってこの認定制度は喜ばしく、励みにもなる。彼にはこの認定を糧に自らの技能を一層高めるとともに、若手技術者の教育にも注力してほしい。同認定制度がより県民に認知され、ものづくり技術者が子供達の憧れの存在になるように県とともにPRしていきたい」と話す。

２０２２年１１月１６日「鉄鋼新聞」